

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	COG protocol AALL0434 INDUCTION
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	Tリンパ芽球性リンパ腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
入院外来区分	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	ALL-49
登録日・更新日	2024年6月25日
削除日	
出典	J Clin Oncol. 2020 Sep 10;38(26):3062-3070. オンキヤスバー点滴静注用3750適正使用ガイド
入力者	満山 聡

## 投与順に記入(抗がん剤のみ)

No.	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	ピンクリスチン硫酸塩 (オンコピン注射用) 生理食塩液	1mg 100mL	1.5 mg/m2 ※1	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	10分	Day1, 8, 15, 22
No.2	プレドニゾン (プレドニゾン錠)	5mg	30 mg/m2/回	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(経口 ※2)	1日2回	Day1-28
No.3	ダウノルビシン硫酸塩 (ダウノマイシン静注用) 生理食塩液	20mg 100mL	25 mg/m2	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	10分	Day1, 8, 15, 22
No.4	ベグアスバルガーゼ (オンキヤスバー点滴静注用) 生理食塩液	3750IU 100mL	2500 IU/m2	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	1時間	Day4 (or Day5 or Day6)
No.5	シタラピン (シタラピン注射液) 生理食塩液	40mg 20mL	70 mg/body *1 ※3	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(髄注)	-	Day1
No.6	メトトレキサート (メトトレキサート注射剤) 生理食塩液	5mg 20mL	15 mg/body *2 ※3	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(髄注)	-	Day8, 29

1コースの期間	35 日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能( 日) ※4 ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>*1 年齢に応じて減量 3歳以上:70 mg/body 2歳以上3歳未満:50 mg/body 1歳以上2歳未満:30 mg/body</p> <p>*2 年齢に応じて減量 9歳以上:15 mg/body 3歳以上9歳未満:12 mg/body 2歳以上3歳未満:10 mg/body 1歳以上2歳未満:8 mg/body</p> <p>&lt;ピンクリスチン&gt; ・重度の神経障害性疼痛(Grade ≥3)、声帯麻痺:休薬する。症状が回復したら、前回計算した用量の50%(最大用量:1mg)から再開し、その後、忍容性に応じて全用量まで増量する。 ・T-Bil 3.1-5.0mg/dL:50%減量 ・T-Bil 5.1-6.0mg/dL:75%減量 ・T-Bil &gt;6mg/dL:休薬。回復したら次回から再開。 ・便秘またはイレウス(Grade 3以上)または腸チフス:休薬する。症状が回復したら、前回計算した用量の50%(最大用量:1mg)から再開し、その後、忍容性に応じて全用量まで増量する。</p> <p>&lt;ダウノマイシン&gt; ・心毒性:心筋症(SF &lt;27%またはEF &lt;50%)またはGrade3~4の左室収縮機能障害(LVSD)がある場合は中止 ・T-Bil 1.2-3.0mg/dL:50%減量 ・T-Bil 3.1-5.0mg/dL:75%減量 ・T-Bil &gt;5mg/dL:休薬。回復したら次回から再開。</p> <p>&lt;ベグアスバルガーゼ&gt; ・Grade2以上のアレルギー反応:中止を考慮。重篤な全身性アレルギー反応の場合はクリサントパバーゼへの代替を検討する。 ・Grade3のアナフィラキシー:中止 ・凝固障害:症状がある場合は症状が回復するまで休薬。臨床症状を伴わない検査所見異常の場合は投与を中止しない。 ・ケトアシドーシス:インスリンで血糖値を調節できるまで休薬 ・Grade3-4の肺炎:出血性肺炎または重度の肺炎の場合は中止。軽度の肺炎の場合、症状や徴候が回復し、アミラーゼ値が正常に戻るまで休薬し、その後再開する。重症肺炎はアスバラギナーゼの追加投与の禁忌。 ・血栓症:症状が回復するまで中止。症状が回復したら、LMWHまたは抗血栓療法を継続しながら、アスバラギナーゼの再開を検討する。 ・中枢神経系イベント(出血、血栓症または梗塞):中止。すべての症状が回復したら全量再開する。</p> <p>&lt;メトトレキサート髄注&gt; ・全身毒性(骨髄抑制、粘膜炎など):投与量を減らすことはない。その代わりに、ロイコボリンを5mg/m2/回、12時間ごと×2回、髄注施行48時間後から使用することができ、すでに存在する骨髄抑制(ANC &lt;500/μL)または粘膜炎を悪化させるリスクを低減できる可能性がある。骨髄抑制を予防するためだけにロイコボリンを投与しないこと。 ・水頭症、小頭症、または髄液の流れの異常が判明しており、腰椎穿刺による髄腔内化学療法が不可能な場合:腰椎穿刺による髄腔内化学療法の代わりに、オンマイヤーカテーテルによる髄腔内化学療法を使用してもよい。髄腔内化学療法は同じスケジュールに従って実施されるべきであるが、投与量は腰椎穿刺により実施される年齢ベースの用量の50%である。</p>
催吐性リスク	中等度 制吐療法は「がん化学療法における制吐療法の標準化」を参照する
前投薬	<ベグアスバルガーゼ> 解熱鎮痛剤+抗ヒスタミン剤+副腎皮質ホルモン剤
支持療法(その他)	なし
その他の注意事項	<p>※1 最大投与量 2 mg/body ※2 点滴の場合は、プレドニゾン5mgごと14mgの割合でメチルプレドニゾン点滴へ置換える ※3 原則、総量が5mLになるように調製する。 ※4 高リスク(29日目の骨髄で芽球が5~25%かつ/またはMRD ≥1%)、寛解導入失敗(29日目の骨髄で芽球が25%以上)の場合、36日まで/血球回復まで待たずに速やかに地固め療法を開始する。</p> <p>・ピンクリスチン投与中はイトラコナゾールを使用しない。 ・ダウノマイシンの総投与量が25mg/kgを超えると、重篤な心筋障害を起こすことが多くなるので十分に注意する。</p> <p>&lt;髄注&gt; 併用注意薬 ・ヘパリンNa (6時間以内の併用) ・低分子ヘパリン(12時間以内の併用) ・抗血小板薬 クロピドグレル、チクロピジン、など ・抗凝固薬 アピキサラン、ダビガトラン、フルファリン など ・内服の併用注意薬の休薬期間は、院内の「凝固系薬術前休薬一覧」に準拠する。 ※アスピリンは併用してもよい ※ヘパリンカルシウム(ヘパリン皮下注)は10000U/dayまでは併用してもよい</p>